

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

## 12 December

7日 陸上競技部が第58回中国四国学生駅伝で10年ぶりに3位入賞

10日 大学院環境生命科学研究科の宮竹貴久教授が参画した研究成果が、農林水産省が選出する「2014年農林水産研究成果10大トピックス」に選定

11~16日 地域総合研究センターは、ポートランド州立大学のステイブン・ジョンソン特任教授を招き、ポートランドのまちづくりを学ぶ「まちづくりウィーク」を開催



12日 理学部4年の山根卓大さんが大阪・神戸アメリカ総領事主催の「第三回英語スピーチコンテスト」で3位に入賞

13日 岡山大学病院は、心臓の大動脈と肺静脈の位置が入れ替わる「完全大血管転位症」を患った男児(生後25日)に対する難手術を実施

16日 研究推進産学官連携機構は「第46回岡大サイエンスカフェ」を開催

17日 イルミネーションで交流広場を彩るイベント「岡山大学\*輝き\*2014」を開催。また、同日から25日までイルミネーションを点灯



18日 定例記者発表を開催

19日 推薦入試1、社会人入試等の合格者を発表

## 1 January

1日 安全衛生推進機構を設置

6日 自然生命科学研究支援センター公開「ロキウム」を開催

7~12日 埋蔵文化財調査研究センターは、キャンパス発掘成果展「鹿田荘の人と時代」を創立五十周年記念館で開催

## 1 January

8日 大学院教育学研究科の上田久利教授と自然科学研究科の吉野雄二教授が、地域社会への貢献や国際舞台での活躍が顕著な個人・団体に贈られる「第73回山陽新聞賞」の文化功労賞・学術功労賞をそれぞれ受賞



9日 2014年度岡山大学新技術説明会を東京都内で開催



13日 アフリカ地域の教育関係者ら5人が、3月5日までの日程で本学教員の指導のもと初等理科教授法の改善と学力評価手法を学ぶ研修を開始

15日 シンポジウム「循環共生型社会の実現による地域再生に向けて」を開催

15日 「植物力×異分野融合先端研究セミナー」を資源植物科学研究所で初開催

20日 大学院自然科学研究科機械システム工学専攻の大学院生でつくる2チームが、第13回学生によるビジネスアイデア提案コンテストでテクノロジー部門優秀賞と奨励賞をそれぞれ受賞

25日 生殖補助医療技術教育研究センターは、シンポジウム「生殖補助医療の安全・安心」を開催

28~30日 世界最大のナノテクノロジーに関する展示会「nanofes2015」第14回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に出展

4日 鏡野町、独立行政法人日本原子力研究開発機構と三者間における連携協力に関する協定を締結

## 2 February



## 2 February

9日 推薦入試II、AO入試の合格者を発表

9日 大学院環境生命科学研究科の沖陽子教授が、岡山県の文化の向上に著しく貢献した個人・団体に贈られる平成26年度の岡山県文化賞を受賞



10日 キャリア開発センターは、卒業生のキャリア開発やネットワーク構築のための第14回卒業生ライフアップセミナー@東京を東京サテライトオフィスで開催

13日 セネガル共和国の小学校教員や教育関係者11人が、3月9日までの日程で本学教員の指導のもと初等理科教育を学ぶ研修を開始

13~14日 健康長寿社会を担う歯科医学教育改革キックオフシンポジウムを開催

17日 研究推進産学官連携機構は医療展示会「中央西日本メディカル・イノベーション2015」を開催

19日 優れた業績を挙げた若手研究者を顕彰する「岡山大学若手トップリサーチャー研究奨励賞」に大学院社会文化科学研究科の東陽一郎准教授、環境生命科学研究科の頼藤貴志准教授を選出し表彰



23日 研究推進産学官連携機構は「第47回岡大サイエンスカフェ」を開催

25~26日 平成27年度個別学力検査等前期日程を実施

26日 グローバル・パートナーズ招聘講演会「セルビア・未知のヨーロッパ」を開催

27日 定例記者発表を開催

## 3 March

2~3日 資源植物科学研究科が第31回資源植物科学シンポジウム及び第7回植物ストレス科学シンポジウムを開催

6日 個別学力検査等前期日程の合格者を発表

6~8日 地球物質科学研究センターが国際シンポジウムMISAVを開催

## 研究・臨床成果

岡山大学病院新医療研究開発センターの王英正教授らの研究グループは、2011~2012年にかけて、左心低形成症候群に対する心臓内幹細胞自家移植療法による幹細胞移植法の安全性と心不全治療における有効性を確認した。米科学雑誌「Circulation Research」に掲載。(12月・定例発表)

大学院環境生命科学研究科の三宅通博教授、岡山県農林水産総合センター畜産研究所らの共同研究グループは、豚糞尿由来のバイオガスを燃料とする固体酸化燃料電池において、バイオガスからの炭素析出を抑制できる触媒の組成を決定し、作動温度600℃でLED電球の点灯に成功。(12月・定例発表)

大学院環境生命科学研究科の中村宜督教授、安部奈緒美日本学術振興会特別研究員らの研究グループは、食品成分のベンジルイソチオシアネートが転写因子Nrf2p65を介して大腸がん細胞の増殖を抑制する分子機構を世界で初めて解明。英国の科学雑誌「Cell Signaling and Disease」に掲載。(12月・定例発表)

自然生命科学研究支援センターの宮地孝明准教授、大学院医歯薬学総合研究科の森山芳則教授、資源植物科学研究科の馬建鋒教授、理化学研究所環境資源科学研究センターらの共同研究グループは、アスコルビン酸を葉緑体へ運ぶ輸送体を世界で初めて突き止めた。英国の科学雑誌「Nature Communications」に掲載。(1月・臨時発表)

大学院環境生命科学研究科の福田宏准教授、国立科学博物館の共同研究グループは、岡山県南部と香川県島嶼部に固有な陸産貝類(かたつむり)の新種を認識し、「アキラマイマイ」と記載・命名。日本貝類学会発行「Venus」に掲載。(1月・臨時発表)

大学院医歯薬学総合研究科の藤原俊義教授、岸本浩行助教、菊地寛次医師らの研究グループは、がん細胞を選択的に殺傷する遺伝子改変ウイルス製剤「テロメライシン」を用いて、消化器がんのリンパ節転移を低侵襲的に完全に消去する新たな治療法を開発し、ヒト大腸がんを直腸に移植したマウスでその効果を実証した。米国の科学雑誌「Molecular Therapy」に掲載。(2月・臨時発表)

大学院医歯薬学総合研究科の須藤雄貴教授、名古屋工業大学との共同研究グループは、電気信号を制御するタンパク質の機能を人工的に創成することに世界で初めて成功。アメリカ化学会誌「Journal of the American Chemical Society」に掲載。(2月・臨時発表)

大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授、大森智栄大学院生の研究グループは、保健管理センターの岩崎良章准教授と共同で、12歳臼歯の生え方に異常がある大学生は、かみ合わせの異常が多いことを、2千人を超える横断研究で初めて突き止めた。「口腔衛生学会雑誌」に掲載。(2月・定例発表)

大学院医歯薬学総合研究科の鶴殿平一郎教授と榮川伸吾助教、西田充香子大学院生らの研究グループは、糖尿病治療薬のメトホルミンにがん細胞を殺傷する細胞の疲弊を解除し、がんを攻撃する機能を回復させる作用があることを証明。「米科学アカデミー紀要」に掲載。(2月・定例発表)

異分野融合先端研究コアの仁科勇太准教授らの研究グループは、日本原子力研究開発機構と北海道大学触媒化学研究センターと共同で、非常に薄い炭素シートに白金微粒子を満遍なく固定化し、同時にシリカコーティングする合成法を開発。従来よりも優れた触媒活性と耐久性を持つ触媒を作り出すことに成功。イギリスの科学雑誌「Chemical Communications」に掲載。(2月・定例発表)